

25

医療・理化学用シリコーンゴム製品のスペシャリスト

 太陽興業株式会社

TEL.03-3893-2741 FAX.03-3800-2411

URL <https://taiyo-kogyo.net/>

代表者：代表取締役 赤塚 弘美

所在地：〒116-0013 荒川区西日暮里6-63-4

資本金：1,000万円

従業員：14人

創業年：昭和28年

業種：ゴム製品製造業

事業内容：シリコーンチューブ製造、
シリコーンゴム関連製品の製造販売赤塚 弘美
代表取締役

製品開発と高品質化の歴史

昭和28年、薬用ゴム栓の製造を目的に日暮里に創業。昭和時代に採血瓶用ゴム栓でトップシェアを獲得して製品技術と高品質の名を上げたのをはじめ、組織培養に使われるシリコーンゴム製品を日本でいち早く研究・開発し、その新製品の普及で業容を拡大して、事業基盤を固めた。

2代目の河内洋輔氏（現会長）は、シリコーンゴム加工の専業経営を究め、この分野のスペシャリストとして医療・理化学・工業用のシリコーンゴム製品に特化した事業を推進。

3階建ての本社工場にシリコーンゴム加工の専用機を配備して、機動性のある多品種・少量生産体制を整え、顧客ニーズに応える製品展開と高品質化に注力。これまで医療・理化学業界の大手企業や研究機関など400社余の顧客との取引を広め、信頼関係を深めてきた。



本社ビル

専業ならではのメニュー

現在提供中の製品は、「押し出しゴム製品」と「モールド成形品」に大別される。内容に変化はあるものの、取扱品目は30種以上。サイズの違いを考慮すると、その10倍以上を扱っている。

主力の押し出し法によるシリコーンゴム製品は、耐熱・耐寒性、耐気性、耐薬品性、無毒、無臭、電気特性などに優れた素材として、シール材のほか、ホース、チューブ、防振材、クッション材などに広く使われている。また、モールド成形品は、シリコーン独自の耐熱性、耐薬品性、耐候性などが活かされ、機能部品としてのニーズが多い。

平成28年3月には、シリコーンゴムとセラミックを融合したセラミック培養栓「セラミックルーム」を開発し、研究機関や大学の実験現場から注目を集めている。本自社製品は、通気性・耐熱性を活かして完全な滅菌処理を可能にした、微生物の培養栓としての需要が高い。



シリコーンWゴム栓／N371Wゴム栓



Cキャップ



シリコーンチューブ

<代表的な製品>

押し出しゴム製品	モールド成形品
●シリコーンチューブ	●シリコーンゴム栓/Wゴム栓
●シリコーン異形押し出し品 (丸棒、凸凹、U字など)	●シリコーンキャップ/Mキャップ
●シリコーン押出しスポンジなど	●シリコーン安全ピッパー
	●シリコーンスリット栓
	●シリコーンポリスマンなど
自社開発製品＝セラミック培養栓「セラミックルーム」 「培養通気栓、蓋体キットおよび培養通気栓用の枠体」 (特許第5982607号)	

組織開発に取り組み生まれた成果をさらに発展させる

平成29年に3代目の代表取締役に赤塚弘美氏が就任。現在、MACCプロジェクトの若手経営者の会「新ニアス会」の会長を務めており、区内企業をはじめとする新たな連携にも積極的だ。

先代からの「顧客ニーズに応える製品づくり」という経営方針を引き継ぎ、常に自社を取り巻く環境を見つめ、材料調達や販売先との関係構築に努めている。その結果、コロナ禍やウクライナ問題下により周囲が販売力の低下や材料の入手不足で売上を減少させていく状況下でも、自社の売上や利益に大きく影響を受けることはなかった。

荒川区の推進する3S活動に会社を挙げて取り組んだ結果、「生産性や品質が向上し、従業員に整理整頓が身につき、在庫管理が上達した」と、赤塚代表取締役は確実な成果を感じ取り、今後の組織開発やSDGsなどの社会課題にも積極的に取り組んでいる。



パイオニアの開発力で、他社では作れない独創的製品を顧客と共に作る！

シリコーンゴム製品のパイオニアとして、シリコーンゴムを加工する基礎技術を蓄積するとともに、素材のシリコーンゴムに様々な機能を加える製品開発力が持ち味。その独創的な開発力を駆使して、市販品ではない、顧客の求める独自製品を生み出すところが強み。

職人の技術と小回りできる多種・少量の生産・営業体制を整えて、顧客と一緒にして製品設計や図面の段階からアイデアを出し合い、材質の選定も行って納得いくまで試作を繰り返す対応にも定評がある。

■主な保有設備

- ・シリコーンチューブ押出機
- ・ゴムロール
- ・ゴムプレス
- ・熱風乾燥機
- ・ゴム切断機
- 他